

令和5年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

＜ 腰越地域 ＞

日 時	令和5年（2023年）7月18日（火） 午前10時～正午
場 所	腰越支所 多目的室
出 席 者	自治会・町内会代表 15名 地域団体代表 9名（うち1名オンライン）計24名 鎌倉市 5名
内 容	<p>第 1 部 市長からの説明..... P. 1 （1）市庁舎移転及び現庁舎の整備等について （2）戸別収集の実施検討について （3）かまくら子ども相談窓口「きらきら」について など</p> <p>第 2 部 地域からの議題に関する懇談..... P. 19 （1）①自転車事故防止のキャンペーン—広報、掲示、回覧等で ②県道304号線の歩道に自転車の「逆走禁止」「歩道通行の要件」等の絵表示 （2）Adachi学園の建設について （3）交通不便地域への新たな交通システム導入の検討 （4）津西一丁目公園の有効活用</p>

出席者名簿 (敬称略)

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	中原町内会	山崎 一雄	会長
2	下町町内会	杉山 昌鎮	会長
3	土橋町内会	伊東 久夫	会長
4	神戸町内会	松本 隆	会長
5	腰越地区町内自治連合会 (浜上町内会)	野村 修平	副会長 (会長)
6	腰越地区町内自治連合会 (津町内会)	新津 豊	会長 (会長)
7	津町内会	田中 良作	副会長
8	七里ガ浜町内会	中原 攻	会長
9	浜上山自治会	佐藤 由香里	会長
10	七里ガ浜二丁目自治会	菅原 能孝	会長
11	腰越地区町内自治連合会 (七里ガ浜自治会)	村谷 宏三	副会長 (会長)
12	諏訪ヶ谷町内会	梶原 秀夫	会長
13	鎌倉グランド・エスティツ自治会	宮 晶子	会長
14	市営諏訪ヶ谷ハイツ管理組合	清水 律子	会長
15	鎌倉白山坂自治会	竹原 明	会長

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	腰越地区社会福祉協議会	和田 恒夫	会長
2	腰越地区社会福祉協議会	小川 和治	顧問
3	腰越まちづくり市民懇話会	檜本 利夫	会長
4	みらいふる鎌倉(腰越地区会)	池田 隆明	腰越地区長
5	七里ガ浜地区スポーツ振興会	信清 宏章	会長
6	腰越中学校PTA	黒木 真一郎	会長(オンライン)
7	七里ガ浜小学校PTA	田端 真理子	副会長
8	鎌倉市社会福祉協議会	根岸 美幸	生活支援コーディネーター腰越地区担当
9	腰越中学校	牛見 誠人	校長

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	市民防災部長	永野 英樹	
3	まちづくり計画部長	林 浩一	
4	都市景観部長	古賀 久貴	
5	腰越支所長	青木 達哉	

第1部 市長からの説明

【全地域共通】



令和5年度 ふれあい地域懇談会

第1部 市長からの報告

鎌倉市長 松尾 崇

1. 市庁舎移転及び現庁舎の整備等について

2

**鎌倉市役所移転に関する条例を提案
賛成 16 反対 10で、出席議員2/3に足らず否
決**

移転に向けた
動きがわかりにくい

市民への情報共有が
不足している

3

なぜ 深沢のまちづくりを行うのか！？

昭和62年 深沢地区に約8.1 ha の国鉄清算事業団用地が誕生

第3の都市拠点形成することで、

- ・ 人口減少、少子高齢化
- ・ 社会インフラ、公共施設の老朽化
- ・ 市の財政基盤の強化

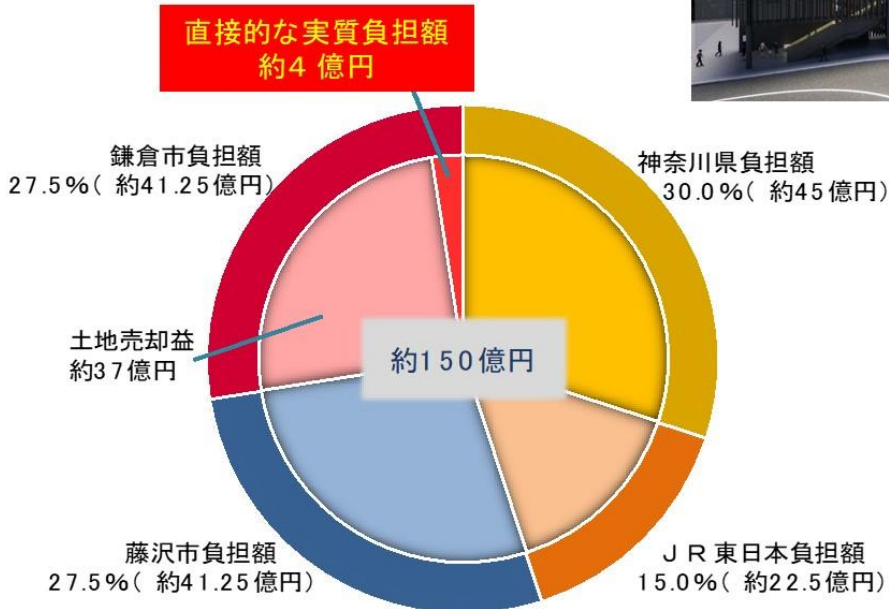
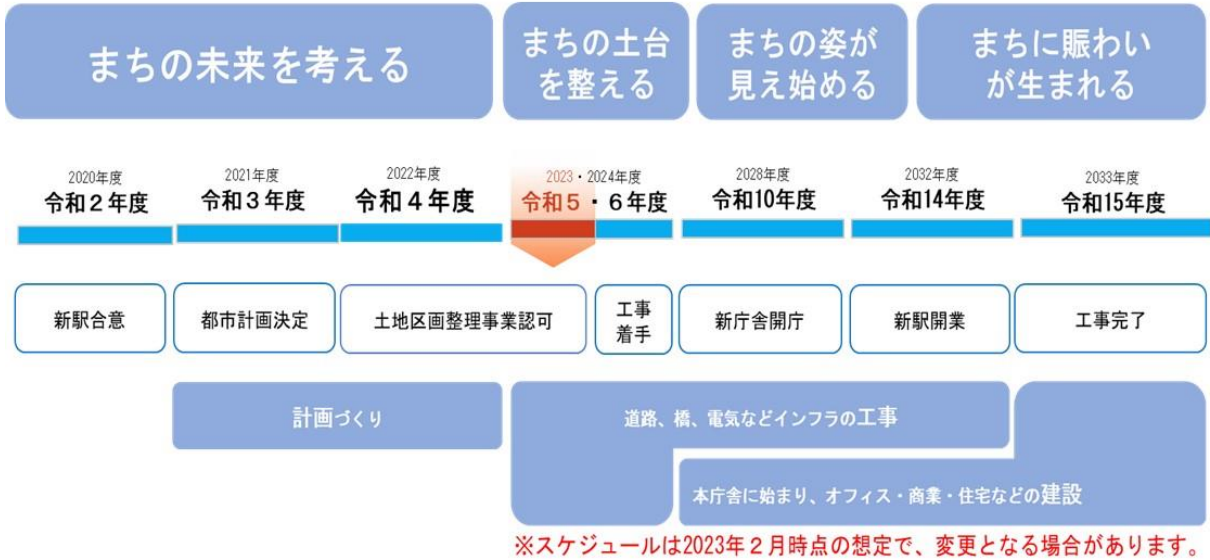
等の様々な課題に対応します。



まちづくりのコンセプト

グリーン × イノベーション
GREEN × INNOVATION 深沢
～地球の未来を守るための鎌倉深沢の新たな挑戦～







新庁舎は、市庁舎、地域図書館、学習センター、消防本部・消防署を複合した施設の整備を計画しています

新庁舎

1 まもる ～災害に強くなります～

<p>耐震性能を備える</p>  <p>大地震発生時も災害対応拠点として機能！</p>	<p>オンラインでの業務体制を備える</p>  <p>様々な災害発生時も業務継続可能！</p>	<p>受援力を備える</p>  <p>自衛隊、支援物資などの大規模な受入れ可能！</p>	<p>エネルギー・給水を備える</p>  <p>ライフライン途絶でも概ね3日間自走可能！</p>
--	--	---	---

2 やさしい ～サービスの提供方法が変わります～

<p>全ての手続・相談が原則オンライン可能</p>  <p>自宅等からスマホで簡単！</p>	<p>対面型の窓口も設置</p>  <p>オンラインが苦手な人も安心！</p>	<p>ワンストップサービスの導入</p>  <p>一か所で全て完結！</p>	<p>予約制も導入</p>  <p>待ち時間短縮！</p>
---	--	---	--

3 つながる ～市民活動スペースが充実します～

<p>深沢図書館・学習センターの複合化！</p> 	<p>カフェ等のほかフリースペースを導入！</p> 	<p>まちづくり情報などを発信！</p> 	<p>市民活動・市民交流スペースを大幅拡充！</p> 
--	---	--	--



- ・災害時、市役所との連携強化（アナログでも連携）
- ・グラウンドや市役所と連携した受援体制の強化
- ・グラウンドや体育館を活用した災害訓練（子どもたちが参加する防災イベント）

市庁舎現在地 ひらいて むすんで 知恵うむ “ふみくら”



中央図書館



生涯学習センタ



- ・老朽化、バリアフリー対応不足
- ・蔵書の収蔵や閲覧席スペース不足
- ・学習できるスペースがない
- ・雑談できるスペースは少ない

老朽化による維持管理費の増加の他、
学習センターは借地

図書館・学習センターの事例



ONE DAY PLAYPARK(市庁舎現在地の体感イベント)



約2,500人の方にご来場いただきました

14



本庁舎移転や深沢のまちづくりに関する 「出張意見交換会」のお知らせ

- 「市役所移転の理由がわからない」「深沢のまちづくりの中身がわからない」「これからの公共施設を、市はどう考えているの?」といった市民の方の声をいただくことがあります。市では、できるかぎり多くの方々とまちづくりの取組を共有し、意見換しながら、いっしょに進めていきたいと考えています
- 地域の方から「本庁舎移転」や「深沢のまちづくり」などについて、説明や意見交換の要望がある場合、身近な場所で「出張意見交換会」を開催します。地域共生課までご連絡ください。23-3000（内線2660）

15

2. 戸別収集の実施検討について

16

戸別収集の実施検討について

実施理由（なぜ検討するのか）



◆クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減

- 高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活するすべての方々のごみ出し労力の軽減
- 不法投棄や動物被害の対応、設置場所の調整、当番制による管理などクリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担軽減

◆ごみの減量のため

- ごみ出しの責任が明確化され分別が進み、ごみの減量につながる
持続可能な収集体制を構築していく

17

メリット、デメリット

◆メリット

- 市民のごみ出し労力の削減
- クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減につながる
- ごみ出し責任の明確化により分別が進みごみの減量につながる

◆デメリット

- 収集箇所の増加により、収集時間がかかってしまう
- 車両を増やして収集する必要がある
- 収集に要する経費が増える

18

疑問点、懸念点

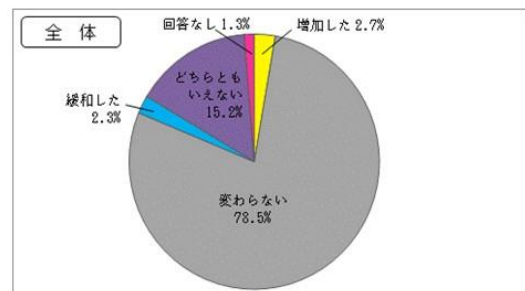
Q.動物被害が心配。

A.ご家庭に応じたバケツやネットをご用意いただくことを想定しています。また、モデル事業時のアンケート調査では、クリーンステーション収集の時に比べ、カラス等の被害が「減った」あるいは「変わらない」と回答した方は83.6%でした。



Q.交通渋滞がおきるのでは？

A.モデル事業時のアンケート調査では、交通渋滞等道路環境の変化について「変わらない」と回答した方は78.5%でした。モデル事業時にも狭隘道路での収集を行いました。問題は生じていません。



19

現在の取組み

◆収集体制の構築

- 効率的な収集に向けたエリア分けの見直し
- エリア特性（狭隘地区、共同住宅、住宅団地地区など）に応じた収集方法見直し
- 収集曜日、収集回数や分別区分の適正化

◆収集、制度構築にあたって必要となる経費の算定

⇒経費に対する考え方を整理した上で、意見公募を行うため全体的な経費見直しを作成

今後について

戸別収集のあり方について審議会で審議

⇒実施方針案の策定

⇒市民説明会・実施方針案に対する意見公募

⇒実施方針確定

3. かまくらこども相談窓口 「きらきら」について

開設

かまくら こども相談窓口 きらきら



令和5年（2023年）4月3日に相談の拠点となる窓口を市役所第6分庁舎に開設しました！

かまくらこども相談窓口「きらきら」について



個室の相談室

個室で安心して相談
できます。

オンラインで各課等と相
談ができます。



- ・ゆっくりとお話を伺ったうえで、必要な部署と連携し、対応します。
- ・関連する担当間で情報を共有し、部署の垣根を越えた支援に繋がります。
- ・窓口からオンラインでの相談もできます。



かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・子育てメディアスポットを市役所本庁舎から移設するとともに、情報発信コーナーを拡大しています。



情報発信エリアを拡大しています。また、子育てに関する書籍や子供向けの本等を配置するエリアを設けています。



ラウンジでは休憩や離乳食の持ち込みもできます。



かまくらこども相談窓口「きらきら」について

・授乳室（2部屋）やキッズスペースを設置しています。



授乳室は個室で鍵もかけられます。



キッズスペース、絵本、おもちゃも揃っています。



・いつでも遊びに来てもらって構いませんので、お気軽にお立ち寄りください。

4. 災害時の避難所について

26

災害時の避難所について①

● 地震災害時

市立小中学校（25校）

開設条件（職員自動参集）

- 市内で震度5強以上の地震が観測されたとき
- 隣接する市（横浜市にあっては区）で震度5強以上の地震が観測されたとき

27

災害時の避難所について②

● 風水害時

市立小学校（16校）
行政センター（4か所）
ほか

第1部 市長からの説明に対する意見・質疑

<下町町内会 杉山会長>

いま市長がご説明になった戸別収集、これは何年か前に議論されて、最終的に実施されなかった経緯がございます。市長のお話の中では何点か要点があると思うのですが、これがあつたがために実施されなかったという地域では、費用の問題が一番大きな問題になるのでしょうか。それとも、複合的にいろいろな要素が絡み合った中で実施ができなかったのか。今回もやるような話であれば、必ずやるような形で実施するようにお願いしたいと思うのですが、それについて再度ご説明をお願いできますでしょうか。

<松尾市長>

さまざまな費用の問題が一番大きな問題ではありますが、他にも、例えばふれあい収集を今は実施しておりますけれども、ふれあい収集との兼ね合いがどうなるのだということなどは、前回議論の1つとしてありました。市としても十分に整理できていなかった部分も実はあつたのですが、現時点でというか今後の見通しも含めてですが、ふれあい収集は並行してこれは実施をしていくと。なぜかという、ふれあい収集はどちらかという、各家庭の要介護者の方も含めた見守りという要素を強く持っておりますので、そこはなくすべきではないだろうと考えております。先般、ふれあい収集をさせていただいたお宅で、ご高齢の方が倒れているのを市の職員が発見して、直ちに救急車を呼んだというようなこともございました。ということで、ふれあい収集はどちらかという見守りという機能ということで、並行して実施していくということです。

費用負担がやっぱり一番大きいと申し上げていますのは、前回試算した時、今の収集費用よりも2倍以上かかるというような試算でご説明させていただいてきました。実はこの間7年ぐらい経つのですけれども、全国で戸別収集を実施する自治体がどんどん増えてきています。そういうところを実際に我々も視察させていただいてお話を聞くと、2倍まで増えているところはほとんどなくて、大体1.2倍から1.5倍ぐらいの費用の増加となっています。近隣で言うと、葉山町は、あれだけ山があつても実は直営でやっているということもあるのですが、特に職員を増やしたわけでもなく費用負担としては増えておらず、お隣の藤沢市では大体トータルで1.2倍ぐらいの増加であると。こういうところなども参考にさせていただきながら、我々も適正な費用で実施できるように検討を進めております。

その他、ちょっと細かいことを申し上げれば、余計にカラスの被害が出るのではないとか、交通渋滞の問題ですとか、今は人が集まらないですとか、そういう課題はいろいろあります。ありますけれども、それは1つずつ解決できる問題であると考えておりますので、そういう意味でぜひ実施をしてまいりたいと考えています。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

今の戸別収集についてもうちちょっと詳しくお伺いしたいのですが、先ほど市長からのご説明の中で、審議会で審議してというお話がありましたけれども、大体その期間がどのくらいかかり、一応のターゲットとしていつ頃から始まるような考え方なのか。少しそういう目標を教えていただければと思います。

<松尾市長>

審議会は、今年度中に答申をいただくという予定で計画をしているところです。その答申をいただければ、来年度、市民の皆さんへの説明、そしてご意見を伺いながら、来年から再来年に向けて実施ができるように進めてまいりたいと考えているところです。

<市営諏訪ヶ谷ハイツ管理組合 清水会長>

高齢者とか、集合住宅とかアパートとか、そういうところはどういう感じで進めていこうと思っているのでしょうか。

<松尾市長>

それぞれのアパートやマンション、集合住宅の形態にもよるのですけれども、既に1か所に集めているような場所でしたら、そこで変わりなく集めていただくという形になります。というのも、戸別収集のメリットとして、今は朝にしか出していただく時間がないのですけれども、それを24時間いつでも出していただけるという形になっていきます。集合住宅の1か所に集めている場合は、きちんといつでも出せるという形になっていると認識しておりますので、その場所を出していただいてという、そこは変更なくやっていただきたいと思っていますところでは。

<七里ガ浜二丁目自治会 菅原会長>

市役所の移転、新駅をつくるというところで、実質4億円の負担ということでしたが、4億円が大きい小さいかはよく分からないのですけれども、現在の市役所の土地を売却するという選択肢はないのですか。

<松尾市長>

公共施設全体の再編計画というのを鎌倉市はつくっております。といいますのも、先ほど申しあげました中央図書館ですとか鎌倉生涯学習センターですとか、公共施設がどんどん老朽化しているという問題があります。それらを現在の場所で全て建て替えるということを仮に実施した場合には、とても現在の予算の範囲内では実施することが不可能であるという試算を出しております。ですので、より効率的に公共施設を新しく更新していく必要があるというのが前提としてございます。

そういう中で計画をつくってきたわけですが、今の市役所の場所は確かに一等地でとても高い価値があるのですが、そこに図書館、生涯学習センターという老朽化した施設を移すことで、それが元々あった土地、生涯学習センターもまさに駅前ですが、あそこも実は市の土地ではなくて借地で年間何千万円という費用が発生しておりますので、そういう費用を発生させなくすとか、ご指摘のとおり、その空いた土地を貸したり売ったりということでの費用を捻出していくという、こういうことをセットにして全体を更新していくという考え方です。

<鎌倉グランドエステイツ自治会 宮会長>

同じく新駅の負担のところなのですが、土地の売却益が37億円ということをご予定されておりますが、これはやはりちゃんと売却できないと、それが全部市の負担になってくると思われるのですが、その辺はいかがなんでしょうか。

<松尾市長>

ちょっとこのところが分かりにくくて、分からなければもう一度ご質問いただければと思うのですが、深沢のまちづくり自体が区画整理事業という枠組みを使って進めます。この区画整理事業の枠組みとはどういうものかということですが、深沢の土地の所有者の方が複数いらっしゃいまして、6割ぐらいはJRが持っているんですけど、そういう土地を持っている方たちの土地を少しずついただき、それを売却し、その売却益でまちづくりをするという考え方になります。

おっしゃるように、この土地区画整理事業で皆さんからいただいた土地をまとめたものが売れなかったらという心配は確かにあるのですが、売れる価値をより高めていくために魅力的なまちをつくっていくということ、それは新駅があるということも1つの要素になるということを進めておりまして、そういう意味では恵まれた場所ではございますので、非常に高い価値でその売却はできると見込んでいる部分はございまして、売れないということは決してないというところではございます。ただ、いくらで売れるかというのは、これは上限、下限いろいろと予想はありますけれども、そこをしっかりと高い価格で売れるようにということをこの事業としては目指していくという形になります。

第2部

地域からの議題に関する懇談

05 腰越-1	①自転車事故防止のキャンペーン—広報、掲示、回覧等で ②県道304号線の歩道に自転車の「逆走禁止」「歩道通行の要件」等の絵表示
05 腰越-2	Adachi 学園の建設について
05 腰越-3	交通不便地域への新たな交通システム導入の検討
05 腰越-4	津西一丁目公園の有効活用

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 腰越-1
テーマ	①自転車事故防止のキャンペーン—広報、掲示、回覧等で ②県道 304 号線の歩道に自転車の「逆走禁止」「歩道通行の要件」等の絵表示
内容詳細	①自転車通勤、ポタリング、レンタサイクリング等自転車使用は多彩な広がりを見せています。また、電動アシスト自転車の販売比率が 2022 年は約半数に上る勢いとなってきています。この 4 月ヘルメット着用は努力義務となりましたが、交通事故の 25%は自転車がらみであり、対自動車事故の 2/3 は自転車側の違反に起因します。ルールを良く知らないで自転車に乗っている人が多いのが現状です。そこで警察を含め、自転車事故防止のためのキャンペーン強化を希望します。 ②県道 304 号線は歩道部分が狭く、ルールを外れた自転車の乗り入れ、逆走が見られます。また、歩道に乗り入れたり、車道に出たりを繰り返す自転車もあります。そこで、歩道に何らかの自転車歩道通行の要件を絵入りで表示していただき、違反を提言したいと思います。
担当部課	都市計画課

議題に対する回答等	
①本市における自転車安全利用の啓発活動は、広報かまくらや市のホームページを通して自転車のルールやマナー等を周知するとともに、自転車教室を実施し行っております。併せて、警察と連携し交通安全キャンペーンを実施しており、自転車を含む交通ルールの遵守と、交通マナーの周知活動に取り組んでおります。今後も自転車事故防止のため、引き続き警察と連携し、自転車の安全利用の啓発に取り組んで参ります。 ②県道 304 号線については、道路管理者である神奈川県藤沢土木事務所にご要望をお伝えし、対応を求めて参ります。	
添付資料	

(1) ①自転車事故防止のキャンペーン—広報、掲示、回覧等で

②県道304号線の歩道に自転車の「逆走禁止」「歩道通行の要件」等の絵表示

<津町内会 田中副会長>

最近の自転車の通行の件ですけど、国でもヘルメットの着用とかいろいろな問題点が指摘されてはいるのですが、県道304号線でよく目にするのですけれども、自転車での通勤ですね。自転車の使用は非常に広がりを見せており、それに電動アシスト自転車の販売も2022年は約半数に上る勢いとなってきているようです。この4月にヘルメットの着用は努力義務となりましたが、交通事故の25%は自転車側にあり、対自動車事故の3分の2は自転車側の違反に起因しているという発表もあります。そういうことで、ルールをよく知らないで自転車に乗っている人が多いのが現状だろうと思うのです。

写真のここはセブンイレブン、クリエイトのところですね。右側を逆走している自転車の写真がたまたま撮られているわけですけども、こういうような事例が最近非常に多く見られるようになっております。この県道304号線は歩道の幅が、腰越から西鎌倉へ行くと非常に幅が狭いですね。自転車がもし来られたら、歩道を歩いている人はぶつかるか車道に降りるかというようなことになってしまって、自転車の方も歩道を歩いている人がいると車道いきなりとび出たり、本当に危険が多い状態です。

そこで、市の方で講習会とか広報とか、チラシ等を含め、集中した強力なキャンペーンを行っていただければというふうに思っております。いま言ったように、県道304号線は歩道部分が狭いですから、ルールを外れた自転車の乗り入れとか逆走、歩道に乗り入れたり車道に出たりを頻繁に繰り返す自転車が非常にあるということで、歩道になんらかの自転車歩道通行の要件を絵で表示していただければ、違反が低減するのではないかと思っております。いろいろ費用はかかるとは思いますがけれども。

この写真は鎌倉高校から降りてきて県道304号線にぶつかる丁字路のところですけど、上から下りてきた自動車が自転車やオートバイを避けようとして、右側の丸の付いたお宅の門のところへ3回突っ込んでいるのです。それでこの家の方がやむを得ず鉄板製の門扉をつくられているわけです。このお宅にとってみれば非常にこういう事故が多いので、なんとかしてほしいというような申出があったわけです。このように、うまく右折できなかった車両が塀に激突するという場所があるので、なんとかこういう事例がなくなるように、標識とかそういったものを設置していただければというふうに思っております。

<まちづくり計画部 林部長>

大きく分けて2つになるのかなと思うのですが、電動アシスト付の自転車が增えたとか、そもそも自転車を運転する方々のマナーというのがあるのかなと思うのですね。県道304号線については、これについての自転車の事故防止キャンペーンということですけど、これは都市計画課交通安全担当で実施しております。特に小学生のお子さんたちを対象にして、これから自転車に乗る、それから交通弱者である小学生に対して、交通のマナー、車はこういうときに来ますよとか気をつけてくださいよというような啓発活動をやっています。一般の方については、ご相談をいただければ対応を検討したいと思っています。

国の方で出しておりますが、自転車安全運転五則、5つのルールというのがあるのですが、その中で、当然なのですけれども、歩行者を優先すると。自転車は車両ですから、歩いている方を優先するというのは当然の義務ですので、それをしっかりと徹底していただきたい。その中に追加されたのがヘルメット着用です。努力義務として着用を規定されています。また、歩道を走行すること、これは歩道の場合は自転車通行可という指

定がされていないところは自転車が通ってはいけないわけなのですね。もっと幅の広い、例えば若宮大路の下馬の交差点付近ですとか、あそこは歩道ですけれども自転車通行可となっていますから自転車は通っているのです。ただ、昨日も私は通ったのですが、すごいスピードで通っていく自転車がいるのですけど、これは歩行者を優先しながら通らなければいけない。そういうのがあるのです。

それから、鎌倉高校から降りてくるところの家に車が突っ込むということで、お住まいの方は非常にお困りだと思うのですが、これは県道で、神奈川県管理の道路になります。鎌倉市道から神奈川県の道路に下りてくるところなので藤沢土木事務所が所管することになりますが、交通管理者は警察、道路管理者は藤沢土木事務所、交通安全については私ども市が所管していますが、市の道路部局と調整をさせていただいて、県にも働きかけをしていきたいと思います。

それから、こういった道路を自転車が通るときに、矢羽根とか自転車のナビラインというのを今つけてきているところがあります。市内で合計3キロぐらいだと思うのですが、この辺りですと西鎌倉の郵便局前から西鎌倉の交差点、道路延長174メートル、こここのところにナビラインというのをつけています。自転車は車道の脇のところを通ってくださいねという表示はするのですけれども、これについては要望が多いので、警察、道路管理者と調整しながら順次対策をしまいたいと考えております。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

確かに市の方でもいっぱいいろいろやったりしている。ちょうど自転車についてのこういうチラシを支所からもらってきたばかりなのですから、なかなか皆さん知らないですね。だから、こういうのをつくっても皆さん持っていかないし、前回来た時と比べても減っていませんでしたから、やっぱり皆さん持っていったいないということですね。

ちょっと分かりにくくて申し訳ないですけど、こちら側が鎌倉高校ですね。鎌倉高校の方が高いから、ずっと下りてきて、右折しようとしたときに、右から来た自転車を避けようとして膨らんで向こうに追突してしまう。自転車は右から来ているのです。ともかく、ここのお宅は3回も同じところ突っ込まれてしまったので、ブロック塀をやめて鉄の扉にしたということのようです。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 腰越－2
テーマ	Adachi 学園の建設について
内容詳細	<p>恵風園跡地に建設が予定されている Adachi 学園について、600 人くらいの生徒数という話もあり、江ノ電鎌倉高校前駅の混雑や腰越方面の狭い歩道の利用などが懸念されます。</p> <p>恵風園跡地の現段階の状況について教えてください。</p>
担当部課	開発審査課

議題に対する回答等	
<p>現在の状況としては、Adachi 学園から、開発事業や建築物の建築に関する相談はありません。一方、現在工事施工中のものは、Adachi 学園が恵風園跡地内のレッドゾーン指定の解除を目的とした防災工事であり、本市ではこの工事に伴い、宅造工事及び風致地区の許可をしています。</p> <p>この防災工事については、令和6年1月末に工事完了予定であるとのことです。 (6月2日現在)</p>	
添付資料	

(2) Adachi 学園の建設について

<浜上山町内会 佐藤会長>

海沿いにある恵風園跡地についてですが、Adachi 学園が関わっているということで、学校が建つとなると、江ノ電の鎌倉高校前駅の混雑や腰越方面の狭い歩道の利用などが懸念されると思って、恵風園跡地の現段階の状況について市へお伺いさせていただいたのですが、市からの回答によると現段階ではまだ Adachi 学園の建築計画がないということが分かりました。まだどうなるか分からないということなのですが、腰越地区が活性化されるような施設が建つといいなと思っております。今後、楽しみにしております。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

昔、恵風園という病院があって、それがいま全部取り壊されて、完全に空き地になってしまっていると。ここを整備して Adachi 学園が学校を建てようとしているということですがけれども、Adachi 学園とはどういう学校なのかとか、どういう学校を建てようとしているのかとか、市の方でこのあたりの情報があたら教えていただきたいと思うのですが。

<都市景観部 古賀部長>

Adachi 学園がこの土地を取得したのは4年くらい前でしたか、その際にこれから防災工事をやっていきたいのだと**意向を話していました**。なぜかという、レッドゾーン（土砂災害特別警戒区域）の指定というのがちょうど2年くらい前にございまして、何かをするにはまずそこをなんとかしなければいけないということで、その相談に来たというのが最初といいますか接触でございました。その時に、自分たちは学校法人で、確か美術系の専門学校をやっており、同じような学校を将来的にここに建てたいのだという夢を語っていました。ただ、その時点では、どういう規模でどういうものをつくるのかというのは、イメージは当然あったのでしょうけど、具体的に何かという話はございせんでしたし、いま現在もこういうものだというものはありません。そういう意味では、影も形もないということが言えるかと思いますが、最初の Adachi 学園の言葉を信じるとすると、ゆくゆくはここに学校をつくりたいという希望があってこの土地を取得したということが言えるかと思えます。

いま工事をやっておりますけど、それは、北側の崖の斜面がもともと恵風園の建物で隠れていてあまり外からは見えなかったのですが、今はよく見える状況になっているということがあります。それにプラスアルファで、レッドゾーンに指定されてしまったという状況がございまして、それを防災工事という形で安全な状態にして、これもゆくゆくはレッドゾーンの指定を解除するというようなところまで持っていきたいということを、Adachi 学園の担当の方が話していました。

それから、地元の方が懸念されている、学生が増えて歩道が狭くなる、駅が狭くなるというような利用に関するご心配ですが、もしここに本当に学校をつくるということになってくると、これは発生してくる問題で、この問題を何もしないでそのままということは絶対はないというふうに私などは思っています。ですので、本当に Adachi 学園がなにがしかの人が集まる施設をつくるということが本当に決まった際には、この問題は看過できないということで、地元の皆さんもどンドン要望、要請をしていっていただきたいと思えますし、行政の立場としてもそれに真摯に応えるよう Adachi 学園を指導していきたいというふうに考えているところです。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

ちょっと私も見てきたのですが、ここの工事、かなり真剣にやっているような感じを受けて、しかもレッドゾーンを解消してということで、説明を聞いていたら本当にすぐにでも建てるような雰囲気の説明だったのですけれども、まだまだ先の話ということでよろしいですかね。

<都市景観部 古賀部長>

あまりここでつまびらかに申し上げにくいのですが、実はこの土地、土地利用するにはいろいろな制約がございます。それらを1つ1つ片付けていかないと、建物を建てるというところまで到達しないような、ちょっと大変な土地なのですね。ですので、仮にこの工事が終わったらすぐというわけにはいかないというのが1つございます。これは、結構な面積がございますして、鎌倉市の開発になってきますので、開発の手続というのがございます。それから、道路の問題もございます。実際に使う道路もあれば、いろいろ手続上必要になってくる道路、いろいろな種類のものがございます。そういったもろもろ全ての協議を調べて、もしくは許可を取って、やっと実際の工事着手の目途がついてくるというような場所ですので、そんなにすぐに話が進むということはないというふうに私どもは認識しています。

<下町町内会 杉山会長>

A d a c h i 学園の関係ですが、仮にあそこに正式に学園ができる前提で考えた場合には、当然生徒さんが増えるような形も想定されますので、今の江ノ電の鎌倉高校前の駅を解体して拡充するのか。それとも新しい駅を建てるのか。これは今後いろいろな形の中で想定される問題ですが、いま現在の段階で考えた場合には、駅が仮にできると想定した場合には、どのような形のものを考えられますか。

<まちづくり計画部 林部長>

仮にA d a c h i 学園が学校をつくと決定をした、工事をする、できました、となった時には、普通に考えると江ノ電を使うだろうと思います。私も通ってましたので朝の状態は分かります。それと、七里ガ浜二丁目自治会の菅原会長にいろいろご迷惑をおかけしていると思うのですが、鎌高前の踏切に人がたくさん来ているなどいろいろ課題があります。ただ、駅をどうするかというのは、江ノ電さんが考えて最終的には結論を出すようになっていくと思うのです。ではその場所があるのかないのか、いま調査をしたわけではないのでお答えできないのですが、なかなかそう簡単にはいかないだろうと思います。ちょっと先走ったお話になるのですが、既存の鎌倉高校は元々ずっとあって生徒が通学しているわけですね。そこにプラスしてA d a c h i 学園の学校ができた場合、これは江ノ電さんとも調整をして、どうしてもオーバーフローしてしまうというようなことが出るようであれば、本当に仮の話ですが、可能性の範囲で、例えばA d a c h i 学園側で何か別の手法を考えてくれませんかというような話になる可能性はあるかなと思っています。いまお話しできるのはその程度かなと思います。実際にそうできるかどうかは全く分かりませんが、可能性の範囲としてはそういうことも視野に入れたいといけないのかなというふうに思います。

<七里ガ浜地区スポーツ振興会 信清会長>

鎌倉海岸教会は宗教法人で敷地は別になっていると思うのですが、ほぼ同時期に移転をして解体工事が始まっているように思いますが、これは1つのものでしょうか。

<都市景観部 古賀部長>

私どもが聞いたところによりますと、宗教法人が移転した後の土地もA d a c h i 学園が取得したとのことです。まだ跡地に建物が建っておりますけど、これを今後どうしていくのかとか、先に取得した恵風園跡地を含めてどうしていくのかというのは、まだ白紙状態だというふうに聞いております。確かに長い歴史から言うと、それこそ戦前の話ですけど、1つだったらしいですけれども、戦後に正式に宗教法人になったとき以降は別になっているようです。

<七里ガ浜町内会 中原会長>

このA d a c h i 学園の跡地の問題で、一緒のような状況下にあるのは、鎌倉高校前のオーバーツーリズムの問題だと思います。ここに学校ができると、オーバーツーリズムという聖地巡礼の観光客、それから鎌倉高校生、それに腰越中学校の生徒の通学路、プラスしてこのA d a c h i 学園が加わってくると、とんでもないことになるのではないかなと思うのですよね。

今回、題にはないですけども、鎌高前のオーバーツーリズムの問題は、ここ4年間はコロナ禍でお客さんがゼロだったのであまり目立っていなかったんですけど、ここ数か月はとんでもない状況になっています。いま七里ガ浜二丁目自治会さんなどが市といろいろ協議して、なんとか対策を練っていきたいというような意向がございますので、そこら辺も含めて、考えをもう一度ご検討いただければありがたいなと思います。

<七里ガ浜二丁目自治会 菅原会長>

A d a c h i 学園の建設の件とは異なるのですが、いま中原会長がおっしゃったオーバーツーリズムの件は、皆さん報道等でご存じだと思いますし、市長からもこれに関するコメントが発せられていると思います。昨日、今日は非常に暑くて、太陽を遮るものが何ひとつなくて、結果的に人が少なかったのですが、1か月前くらいの状況を申し上げますと、それこそ鎌倉高校前の道のところに100名ぐらい観光客が常にいるような状態で、市役所や江ノ電さんにもご協力いただきまして、警備員も配置していただき、それはそれで非常に助かっているのですが、ただ、いかんせん100名以上の方をさばき切れないというのが現状となっております。いろいろな策を市役所と相談しながら進めており、鎌倉高校前駅のそばにラッコ公園という公園がありますが、これはライオンズマンションの付帯設備と聞いておりますけれども、この植栽をちょっと短くカットするなど、そういう対応を細かなレベルでいろいろ進めていただいているような状況でございます。これは非常に感謝しております。

引き続きオーバーツーリズムに関しましては、もうちょっと根本的な対策ということで、たぶんA d a c h i 学園の件はそこに入ってくるのではないかと僕も今日お話を聞いて思った次第ではあるのですが、もう少し江ノ電、警察を巻き込んでの協議会をお願いしておりまして、市役所からも協議会をぜひともやりたいというお話を受けておりますので、その協議会を早急をお願いしたいと考えております。実は、2019年に協議会を1回開催しました。その時は七里ガ浜二丁目自治会発という形で集会させていただきましたけれども、なるべく市役所を中心に協議会を開催していただけると私たちも助かると思いますので、そこはよろしくお

願いたいと思っております。

<まちづくり計画部 林部長>

皆さん大変お困りというのは承知をしております。Adachi学園の話と外れてしまうかもしれないですけど、鎌倉高校前のオーバーツーリズム問題は非常に重く受け止めているところです。江ノ電さんという話もありましたけれども、江ノ電さんともいろいろ意見交換をさせていただいているところですが、一方で警察にもお願いをいたしまして、市道の車止めを外して、そこに警察のパトカーに待機してもらって、日本語、中国語、韓国語の3か国語で注意喚起をさせていただいています。それと、鎌倉市の青パトという交通安全指導をしている自動車が3台あるんですけど、回れる時には行って同じアナウンスをしてもらうということもしています。協議会についても、観光セクションとも協議をしていますし、江ノ電、警察その他と調整を図って検討していきたいと思っております。

<都市景観部 古賀部長>

ちょっとだけ補足を。ラッコ公園はできた当時から市の公園になっておりますので、そこはご安心ください。植栽も市で切りました。

Adachi学園の話にちょっと戻りまして、学生が増えると駅があふれてしまうのではないかというご懸念、これは最初のご質問の中にあっただと思うのですが、これはまた繰り返しになると思いますが、開発事業を本格的にやるということが決まりました暁には、この辺のところはなんとかしなければいけない問題として取り組んでいくもののひとつになっていくかと思えます。

具体的には、先ほど鎌倉高校前駅の江ノ電のホームの改修などの話もございましたが、物理的なものもございますし、運用の面で例えば藤沢方面から来る学生は腰越駅で降りるとか、そういった運用も可能性のひとつとしてあるのではないかなと思います。そういった諸々のことを含めて、極力、いま駅を使っている地元の方に迷惑がかからないような形でどういった手法が取れるのかというのは、じっくりこれからAdachi学園が取り組まなければいけない問題だと認識しておりますので、この辺のところは今後の課題というところで、今日の間をもってしっかりと認識をしていきたいというふうに考えているところです。

<松尾市長>

協議会の設置ということで、市がしっかりと音頭を取りながら設置に向けて検討してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 腰越-3
テーマ	交通不便地域への新たな交通システム導入の検討
内容詳細	<p>市営諏訪ヶ谷ハイツ周辺の津西二丁目は、県道 304 号線沿いのバス停や湘南モノレールの駅から離れ、道路も狭く、急な坂道が多いことから、高齢者が外出しづらい環境になっています。</p> <p>平成 11 年度に「鎌倉市オムニバスタウン計画」が策定され、津西二丁目を含む、「腰越・津地区」は交通不便地域の 6 地区の 1 つに抽出されましたが、その後の交通不便地域の解消への検討状況が分からなくなっています。</p> <p>令和 3 年 1 月には「二階堂・浄明寺地区」で鎌倉オンデマンドモビリティ実証実験が実施されたと伺っておりますが、その結果の概要や交通不便地域解消の検討状況、津西二丁目エリアと、例えば、湘南モノレール西鎌倉駅や腰越支所とを結ぶ新しい交通システムの導入の検討をこの機会にお願いできればと考えております。</p> <p>以上をご回答いただければ幸いです。</p>
担当部課	都市計画課

議題に対する回答等

ご案内の鎌倉市オムニバスタウン計画では、市営諏訪ヶ谷ハイツは交通不便地域には含まれておらず、交通不便地域を指定している腰越・津地区は江ノ電バスが運行したことで解消しています。

また、交通不便地域である二階堂・浄明寺地区では、最寄のバス停からのラストワンマイルのエリアを対象に令和 3 年 1 月に無償での実証実験を 24 日間行い、延べ 420 の方が利用されましたが、日換算すると約 18 人の利用に留まり、有償での運行を見据えると安定的な利用がないと、利用料で運行を賄う枠組みの構築は難しいことが分かりました。

一方、住民の声としてはバス停までのラストワンマイルではなく、バスに乗り換えず駅まで行けることを望まれる声が多くありますが、駅まで運行しているバスと競合することも課題となっており、これまでの検討ではまず利用を希望されている高齢者層を中心に、外出頻度の高い日や時間帯で運行しつつ、出来るだけ地域で乗

合が出来る仕組みなど、自立した持続可能な運行が出来るものと考えています。

今後は、関係者とも連携・調整を図り、枠組みが構築できれば本格運行に向けた有償による実証実験を実施したいと考えております。

市としては、まずは交通不便地域の交通環境改善に注力しているところであり、ご提案の津西二丁目と西鎌倉駅や腰越支所間を結ぶ新しい交通システムの導入については、現時点では検討を予定しておりません。

添付資料	
------	--

(3) 交通不便地域への新たな交通システム導入の検討

<市営諏訪ヶ谷ハイツ管理組合 清水会長>

市営住宅がモノレールの片瀬山駅から腰越のこちらの道路に対してちょうど中間ぐらいなのですが、とても道の高低差が激しく、一般の方でも普通に歩いていてきつい道で、高齢者とか身体に障害がある方にとってはすごく歩きにくい道でもあるのです。モノレールの駅に来るにも大変、下の行政センターの方の道路に出るにも大変、道が狭いのに車がすごいスピードを出して通るので、避けるのが大変な道でもあります。

道は結構舗装されていますが、やっぱり車が通るのが激しいのか、道がすぐ凸凹になってしまうので、荷物を持って歩いたりしていると凸凹に引っかかってしまって転んだりすることもありますので、今回こういう議題を出させていただきました。江ノ電バスも1時間に1本、藤沢の方に行くのは2時間ぐらいない時間帯もできました。京急バスの方も1時間あるいは2時間に1本で、とても不便な道なのですが、行政センターや西鎌倉、病院に行く方のために、小型バスとかそういうものを検討していただけたらと思うのですが、いかがでしょうか。

<まちづくり計画部 林部長>

市内に、交通不便地域として鎌倉市が指定している地域というのがいくつかございます。この諏訪ヶ谷ハイツ周辺のこの辺りについては指定されていないところなのですが、交通不便地域の解消ということで、具体的には令和2年度に浄明寺・二階堂地区で、無料でオンデマンドの車両を走らせたということがありました。ただ、それを有料化して収支のバランスが取れるようになるかということ、検討を進めたのですけれども、やはり実際にお金を払ってということになると、利用する方があまりいないというような現実があって、どこでバランスを取ったらいいのかというのは非常に難しいところであります。

基本的には京急さんとか江ノ電さんとかにお願いしてやっていたけれども、地域交通についてはやはり公共交通でまかなっていただくのが一番いいのですけれども、昔は路線バスで大きいものしかなくて、その後ミニバスができて、さらにもうちょっと小型のものも今はあります。いろいろな乗り物がある中で、バス事業者さんが参画、参入していないということは、やはり需給のバランスということもあると思うのですよね。さりとて障害者の方がお困りになられていることもありましたので、まずはモデル地域としているところでの取組みを踏まえて、収支のバランスが取れるような新たな移動手段というものをいま模索しているところです。それらが実現できるようなモデルというものができたら、他の地域にも発展させていくというようなことをいま考えているところでございます。

<市営諏訪ヶ谷ハイツ管理組合 清水会長>

もうちょっとお聞きしたいのですけれども、二階堂と浄明寺地区でやっているということですけど、この情報を聞いたことがないのですが、アンケートとかそういうものは取ったのですか。

<まちづくり計画部 林部長>

実施した時のアンケートも取りましたし、その後、令和3年度に有償の実証に向けたアンケートでもうちょっと細かいものを実施しています。その結果についてはまだ公表はしてございませんけれども、今後、お出しできるような段階が来ればお示ししたいと思っています。令和4年度の検討の中で可能性というものが見え

てきているところもありますので、今後、有償の実証実験をやろうというふうに考えています。

アンケートの結果からすると、一定程度の需要が見込まれるだろうと。これぐらいのお金だったら払ってもいいだろうというようなところが意見として出ております。全然使わないという人もいますけど、使いたいという人もいます。両方いるのですね。それで、この金額でこの移動だったら行けるだろうというプランをつくって、実施できるような方向に動いているというところなんです。ただ、有償ということになりますと、地域の交通会議というのがあるって、それから国の認可というのを取っていかなければいけないので、そういうことも視野に入れて、いま検討を進めているところでございます。

<市営諏訪ヶ谷ハイツ管理組合 清水会長>

それに伴ってですけど、実は私たちが住んでいる市営諏訪ヶ谷ハイツからモノレールの片瀬山駅に行く途中に、すごい急階段があるのです。その手前も結構な急坂です。見ると分かるのですが高さがすごいありまして、一段一段上がるのがすごく大変なのです。そこをどうにかしてもらいたいというのも住んでいる方とかその周辺の方からも意見が出ているのですが、そこをどうにかしていただくことは可能なのでしょうか。

<松尾市長>

どうするかという手段だと思うのですが、おそらく要望とするともう少し階段の段差を下げるといようなことを望まれているのだとすると、なかなか今できているものを低く下げるといのはかなりの大きな工事になってまいりますので、果たしてそれがどこまで必要かというところの話ではないかなというふうに思います。今は取りあえずお話としては受け止めさせていただきたいと思います。

<諏訪ヶ谷町内会 梶原会長>

この階段については、私も、もう5、6年前かもっと前に市に言ってあります。なんの回答もありません。それから私は市とのやり取りは全部メールにしました。メールはどんどん残るので。

この階段、何がすごいかって、1段がすごく高いのですよ。これをつくった時から無理がある階段で、ですからお年寄りにはぐるっと回るようにと町内会では言っています。この階段は上りもつらいですし、下る時には非常に危険な階段だと思います。つらいだけではなくて危険な階段ということを認識していただきたい。雪が降ったらすごく怖いです。今日ぜひ認識していただいて、次回のふれあい地域懇談会、私はもう出られませんが、その時までには何らかの回答をいただければ。その前にいただけるのでしたら、私はメールアドレスも携帯電話も公表していますので、ぜひお願いします。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

私の得ている情報ですと、この地域、腰越のいくつかの地域は、鎌倉市の中では交通不便地域の6地区の1つだということを聞いたのですが、そういうことはあるのでしょうか。

<まちづくり計画部 林部長>

いま正確に確認できる資料がないので確認はします。申し訳ありません。

<腰越支所 青木支所長>

前に腰越の津の地域が指定されていたのですけれども、御所ヶ丘ですとか新鎌倉山の方でミニバスが通ったということで解消されたという認識です。

令和5年度ふれあい地域懇談会 第2部 回答票

番 号	05 腰越－4
テーマ	津西一丁目公園の有効活用
内容詳細	<p>津西一丁目公園は長らく放置されたままになっており、公園としての有効活用がなされていません。</p> <p>過去に当町内会より「公園としての整備」の要望が出されたと聞いていますが、記録は残っておらず、当時を知る人もほとんど残っていません。</p> <p>そこで、</p> <p>①過去当町内会より提出された要望とその回答及びその後の経過</p> <p>②改めて整備を要望した場合、実現の可能性（例：整地、ベンチ、ブランコ、滑り台等の遊具の設置等）</p> <p>③公園以外の有効活用の可能性</p> <p>につき、回答いただければ幸いです。</p>
担当部課	みどり公園課

議題に対する回答等

- ① 過去の記録によると、平成23年（2011年）に、子どもたちが遊べるよう公園の一部に施設を整備して欲しいという要望と、草刈りについての要望を町内会様から頂いています。
- 整備の要望については、平成10年（1998年）頃にベンチ、水飲みを整備しようとした経過がありますが、施設整備に関する反対のご意見を頂いたため、協議の結果、散策路を中心とした現在の形となった経過があるため、ご意見として賜っています。草刈りについては、要望の有無にかかわらず年2回、草刈りを実施しています。
- ② 公園行政の喫緊の課題として、既存遊具の老朽化対策に取り組んでいることから、大規模な工事を伴う施設整備を直ちに始めることはできませんが、子育て環境整備の視点に立ち、実現の可能性を探ってまいります。
- 津西一丁目公園は、都市公園法に定める都市公園として位置づけられており、同法により区域の全部又は一部を廃止してはならない旨の規定があるため、公園以外への転用は困難ですが、近年、公園の利活用については全国的にも様々な先

行事例が生まれており、本市においても地域のニーズを踏まえた活用を検討していきたいと考えています。

添付資料

(4) 津西一丁目公園の有効利用

<津町内会 田中副会長>

津西一丁目公園はほとんどの方が、地元の人でもある場所を知っている人の方が少ないのですね。長らくそのまま放置されてきてしまったものですから、かなり広い土地ですけど、公園としては全く利用されておられません。過去に、町内会から公園としての整備の要望が出されたということは聞いていたんですけど、記録にも何も残っていないので。当時を知る人もほとんどおりませんので、その結果がどうなったかということも分かりません。場所はモノレールの片瀬山駅から西鎌倉へ下っている、ちょうど中間なのですね。本当にここに公園があるということを知っている人は少ないです。片瀬山駅の方から来ると、モノレールの道路からちょっと右手に上がらないと入り口が見えないです。この入り口が道路沿いになればまだ分かるのでしょうか、15～16メートル入っているものですから、まずその道路を歩く人というのが皆無ですね。そういうような状態ですので、過去、町内会から提出された要望とかその回答、その後の経過について記録があれば、市の方からお知らせしていただければなと思うのですが、どうでしょうか。

<都市景観部 古賀部長>

記録を調べましたところ、整備の要望ということで、平成10年頃にベンチ、水飲み場を整備するという計画があったようですが、結果的に整備に反対するご意見も出てきて、結果としてそれらが整備されなかったというような経過がございます。

もう1つあったのが、平成23年に、これも町内会様から子どもたちが遊べるような公園の整備をしてほしいというご要望をいただいたようなのですが、これも経過ははっきりしていないのですが、なんらかの事情があってやっぱりなされなかったと。その代わりに、草刈りですとか、それから遊歩道みたいになっていますのでその辺の整備をした、というような記録が残っております。

<津町内会 田中副会長>

ということは、住民の方から反対意見が出たということなのですね。

<都市景観部 古賀部長>

あったのではないかなと思います。

<津町内会 田中副会長>

そういうことはちょっと存じ上げていなかったものですから。例えばベンチとかブランコとか滑り台、そういった遊具の設置はいかがなものかなというふうに思っていたんですけど、特に住民の反対が出たということであれば、またこちらでも調べなければいけないと思うんですけど。この公園の斜面が写真のとおり非常にきつくて、また北側斜面なものですから日当たりがあまりよくないのですね。ですから、冬場とかは全く利用できない状況になっています。

ただ、もしここを利用できるということをお願いするとすれば、なごやかセンターの裏山とこの公園がつながっているのですよね。ですから、津町内会の間がなごやかセンターへ行行って、なごやかセンターの裏からずっとモノレールの方まで散歩して、西側ぐらいからぐるっと回ってくるというようなコースが取れるとい

い散歩道にはなるのですが、現状はこの公園となごやかセンターの奥というのは全く藪になってしまっていて獣道もないような状態なので、そこら辺を整備していただけるようなことがあればこの公園の利用価値もまた出てくるのではないかなと思っているのですが、その点はいかがなものでしょうか。

<都市景観部 古賀部長>

町内会もしくは地域のご要望ということで今日持って帰りますので、また改めてご連絡したいと思います。

<腰越地区町内自治会連合会 新津会長>

本当に広いんですね。広くて、誰が遊んでいるのだらうと疑問に思うんですね。1回皆さんに見ていただくと分かるのだけれども、何か有効利用できそうだなという気はいつもしているのだけれども、誰も遊んでいないというのが今の状況ですね。知らなかったのだけれども、なごやかセンターにつながっている。だから道を通せばいいのではないかなというのが今の感じで、遊歩道ができて散策道路になるのではないかなという感じはありますよね。

<都市景観部 古賀部長>

途中までは遊歩道っぽくなっているのですが、その奥までは私も行ったことがないので分からないのですが、そういった整備も当時やろうとしていた感じがありますので、その延長でもうちょっと遊歩道の奥までというのはおそらくできるのではないかなと思います。あとは、公園以外の有効活用の可能性という話もございましたけれども、なかなか1回、法律で公園と決めてしまうと、やめられないというのがありますね。やめたくもないのですが。そうすると、公園としての使い方としてしか利用ができないというのが1つあります。

それから2つ目は、結構な広さがあると思うのですが、大々的に整備をすると、それにまつわるいろいろな人が集まってくるということで、いろいろな影響とかハレーションが出てくるという問題があるので、その辺はなかなか痛しかゆしだなというところです。

この地域の方にとってみると、非常に広大な土地でポテンシャルはすごくあると思います。これをどうしていくかというのは、ある意味、皆さんと一緒に考えながらやっていくということになろうかと思しますので、今すぐ何か大改変ということはおそらくないのではないかなと思いますけど、知名度を上げるとかそういったところからスタートするということになると、先ほどご提案いただいたようなところからまずは手をつけていく感じかなというふうにご話を伺って感じました。

<腰越地区社会福祉協議会 小川顧問>

市に土地が移管されてから、なごやかセンターの話が出たときに、私たち地区社協は、あそこの奥の散策路を提案したことがあるのです。なごやかセンターの付近だけではなくて、あの地域一帯をもうちょっと整備して、屋外で何かできることはないかと。たまたま道路の方に公園があって、その出口を利用すれば一帯がつながるということで、散策路もつながるはずなんですよ。

当時はちょっと難しかったというか、しかし、市に移管されてなごやかセンターをつくる時に、土地の整備とか、あるいは裏のちょっとした平らなところを公園というか屋外でいろいろできるような場所にしたり、裏の公園まで抜ける道を整備したらどうかということも言いました。なごやかセンターができてから十数年経

ちますが、あその話になってからは急激にあそこがクローズアップされてすぐ工事に入ったので、あまり日には経っていないと思うのですけれども、当時そういう話をしたのですね。

でも、やる気がないのでしょね。どうしたらできるかではなくて、どうしたらやらなくて済むかみたいな話なので、こんな話はしたくないのですが、先ほど田中さんから出ましたけれども、なごやかセンターの川沿いの2、30メートルの道路がどうしてできないのかね。あれは国有地だというのだけど、国有地で何もされていないわけだから、市が管理しているようなので、道路にしてもらいたいですね。もっと言えば、あれがもし道路でないとすれば、なごやかセンターのすぐ手前、あそこは30メートルぐらいありますかね。あれは道路ではないと市は言っていますが、それではどこから入るのか。道路ではないところから入ってくるのですか。道路の申請はされているはずなのですけど。

この前の話のときに、国有地で手がつけられないみたいな話になって、それでおじゃん。それ以上何を言っても聞く耳を持たないような感じで。その前に何度も何度も話をして、やっと先ほど新津さんや田中さんがおっしゃったように、川沿いの道がかさ上げされたり、歩道部分がアスファルトで舗装されたりしましたけれども、あれだって6、7年かかっている。だから10何年前の話なので、市は担当者が代わって忘れているかもしれませんが、公園となごやかセンターの土地のつながりができたので、あの裏手の方を屋外でお年寄りや子どもが遊べるような場所、個人の山でしたら黙って入って何かあったら困るのですけれども、市が一括して管理する土地ですので、ぜひ、公園とまではいかないまでも、散策路ぐらいの道はつくってほしい。当時、老人会も、初めだけ市でやってくれば、あとの管理、草刈りとか道が悪かったら直すとかいうようなことはやるような話をしていたのですけど、いつの間にか消えてしまいました。今日は何も話すつもりはなかったのですけど、その話が出ましたから、お願いしたいと思っています。ぜひよろしくをお願いします。

<松尾市長>

ご指摘のとおり、お話もいただいてきましたし、検討もしてきた経緯がございます。先ほど梶原会長がおっしゃっていましたように、ちゃんとした報告や連絡がないということについては、本当に申し訳ないところではございましたので、きちんと途中経過とその結果というのは常に共有してまいりたいというふうに思います。

散策路につきましては、ちょっと言い訳っぽくなりますけれども、いま市全体の中で、道路の整備、公園の整備が、実は老朽化してもなかなか追いついていないという、現状を維持することすらままならないというお恥ずかしい状況でございます。そこはなんとか効率的にやっていくということで、さまざまな工夫をさせていただいておりますので、なかなか新規のところには手を出さずというのが本当に難しくなっているというのは現状としてございます。

とはいえ、今日こうして地域の皆さんとの懇談会の中でご要望として出されている課題ですから、我々もしっかりそこは受け止めさせていただいて、改めて検討してまいります。数多くの要望の中でどう優先順位を付けていくかということが課題となりますので、今日いただいた要望を、繰り返しですけれどもしっかりと受け止めて、今後の検討状況とし、また検討結果をご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

その他

＜七里ガ浜二丁目自治会 菅原会長＞

これから申し上げることは、コストが非常にかかる話だというのは私も認識しておりますが、たぶんどの自治会におかれましても有益な話だと思いますので、ちょっとここでご提案というか、相談させていただきたいというふうに思っております。

それは何かというと電柱の地中化です。昨今、温暖化の影響もありまして、やっぱり台風もここにきて非常に強くなってきて、私も家を建てた当時はいいのかなと思っていたのですが、昨今はびくびくしているという状況です。そのような状況で、やはり電線が切れるというようなことがこれから頻繁に起きると思っております。そういう防災の観点からも、やっぱり電線を地中に埋設するというのは効果があると思っておりますし、鎌倉は観光都市であるにもかかわらず電柱がすごく建っていて、非常に恥ずかしいというか醜いというか、観光都市らしからぬ景観をしているというのが僕の認識です。

特に、七里ガ浜地区におきましては電柱が非常に建っておりまして、せっかく海沿いできれいな場所なのですが、残念ながら電線が景観を非常に邪魔しているというような状況になっております。たぶん他の自治会も同じような状況なのかなと僕は勝手に認識しております。電線の地中の埋設化というのはちょっとコストがかかる話だというのは十分に認識しておりますけれども、これから観光都市を標榜する、防災対策をきちっとやっていくという中で、ぜひとも進めていただきたいと思いますと思っております。

＜松尾市長＞

ご提案いただきましてありがとうございます。電線の地中化につきましては、鎌倉市にとっても大変必要なことであると考えています。現在、鎌倉市では電線地中化をする路線を指定しておりまして、そこを優先的に整備していきますが、鎌倉駅、大船駅の前が予定箇所としては現在となっております。逆に言いますと、今のご指摘はそれ以外のおそらく住宅地の中ということになります。これはご案内のとおり、日本の場合はものすごくお金がかかるということで、全国的にも進んでいないという状況があります。

全国の市長さんともこういう話になることが多くて、実は電線地中化の協議会というものを立ち上げて、現在、私は副会長という立場をもっています。これはいま何をやっているかということ、これだけお金がかかるので、お金がかからない形になんとか国として整備していくということを我々は検討してきました。国土交通省と経済産業省に掛け合って、東京電力さんが整備をしていくのに、電柱をつくるよりも地下に入れた方が、経済的にメリットが出るように法改正をしてほしいということを会として訴えてきました。そうすると自然と電線地中化が進んでいくという、こういう社会づくりに向けて今は一步を踏み出しているところです。

いま出ているものを地中化するというのは本当にお金がすごくかかりまして現実的にはなかなか進まないのですが、これはどこでもあることなので、なんとかこういう形で進めていけるよう、また、市内でも優先的に指定している区域はなるべく進むような形で進めてまいりたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

＜七里ガ浜地区スポーツ振興会 信清会長＞

先ほど出ましたオーバーツーリズムの件についてお話をお聞きしたいのですが、報道によりますと、先ほどから問題になっております鎌倉高校前の踏切がスラムダンクという漫画の聖地ということで、特に台湾、中国、

韓国の方々が鎌倉を訪れる際に、真っ先に向かう場所だと伺っています。

報道によりますと、あそこら辺の民家のベランダに、知らぬうちにそういう人たちが入り込んでいるということが起きております。自分は134号線に面している顕証寺の住職をしてしておりますが、連日同じような人ばかりがお寺の入り口に朝早くから夕方遅くまで占拠をしております。坂のところには座り込まれますと、車で往來する人たちも思わずクラクションを鳴らさずにはいられない。その上ごみを置きっ放しにしていくと。こういうようなことで、観光対策上、なにかあの方たちに分かりやすい、鎌倉の特に寺社においてはこういうことをしてはいけませんというようなガイドブックかパンフレットか何かをつくっていただくとありがたいのですが。

<松尾市長>

ご提案ありがとうございます。前段の鎌倉高校前の江ノ電沿線の対応というのは、先ほどもご指摘がありましたように大変重要な課題でございますし、解決にはなかなか結びつきませんけれども、少なくとも警察や関係機関と連携をして、常に目を配りながら対応していく課題だと思っておりますので、先ほどご提案のあったように地元の皆さんとも協議会をつくりながら、解決策として何かできないかということとは取り組んでいきたいと思っております。

それからもう1つは、お寺でのルール、マナーですね。こちらにつきましては、鎌倉市としては観光のマナー条例をつくらせていただいております。これは理念条例ですのでどこまで実効性があるかということについては難しさがあるのですが、地道にルール、マナーを観光客の方にお知らせしていくことの繰り返しだと思っておりますので、その中で引き続きご相談させていただき、製作物も有効なものをつくるなど取り組んでまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

<諏訪ヶ谷町内会 梶原会長>

青少年広場が当町内会にあるのですが、4年くらい前からボール遊びが禁止になりました。それは町内会が決めたのではないかとすると全くの誤解で、決めたのは市です。私はずっとルールをつくってくれと市に言ってきましたが、やっと4月に入りまして、野球は禁止でバットを使わない、サッカーのゲームはしないという2つを禁止事項としてボール遊びを再開するということで、町内会としても分かりましたと了解しました。それで、どういうふうな告知をしていただけるのかと待っていたのですが、やっと先週の金曜日にメールが来たのですが、具体的な内容について全く聞かされていなくて、私は夏休み前にやりましょうと4月の段階で言ったので、来週月曜日からスタートするのですが、皆さんにボール遊びはできるようになりましたということだけでもお伝えしたくて、お話ししました。

あと1つ。9月3日に福祉まつりが社協で行われます。腰越地区社協でもお店を出して、そこで売るものがありますが、それに関してペットボトルとプラスチック容器は駄目だということを知りました。最初の会議でそれはなんだと思ったのですが、市の後援を得るためにはペットボトルとプラスチック容器は禁止にしないといけない。よくよく考えてみると、鎌倉市社協というのは市と密接な関係にあり、それがやるイベントの後援に条件をつけているのはいかなものかなというのを市長にお伺いしたいと思っております。

＜松尾市長＞

ありがとうございます。ご指摘のとおりでございます。市がプラスチックごみゼロ宣言を出させていただく中で、全体としても市民の皆さんにご協力いただきたいということで、市の後援をする際には、ごみを出さないようにしていただきたいということを条件として付させていただいているものです。これについてはご指摘のようなご意見もいただいているところでございます。現実的にどのようにご協力いただくか、ごみが減らせるための施策につながるかというところをいま運用しながら検証しており、今後どうしていくかというところを改めて検討していきたいと思っておりますので、現時点では大変申し訳ございませんけれども、よろしくお願いいたします。